

関係人口1,000万人協働促進事業 事業の趣旨、評価ポイント

申請区分	事業の趣旨
広域交流事業	県内のボランティア団体等と他県で活動する団体が協働で実施する事業に対して支援を行うことにより、本県の関係人口の拡大を目指す。
ワカモノ活動促進事業	若者グループを主体又は協働相手として実施する事業に対して支援を行うことにより、若者の活動を促進し、若者の県内定着又は本県の関係人口となることを目指す。
県民協働活躍事業	県内のボランティア団体等が県内の団体と協働で実施する事業（広域的な事業効果が見込まれるもの）に対して支援を行うことにより、誰もが活躍できる環境づくりを目指す。

	審査項目	評価ポイント
1	事業の目的及び内容の妥当性	①事業の妥当性 事業の趣旨に合った企画であるか ②事業の明瞭性 事業内容の目的が明確かつ的確であるか ③成長戦略への寄与（広域交流事業、県民協働活躍事業） 成長戦略の実現に寄与する取組みであるか ③SDGsへの寄与（ワカモノ活動促進事業） SDGsに寄与する取組みであるか ④事業の実現可能性 提案の内容や実施方法に具体性があり、実現する可能性が高いか ⑤事業の拡大・効果【2年目の申請団体のみ】 1年目の事業結果を踏まえ、事業の改善が図られているか、効果の拡大・深化に繋がっていると認められるか
2	申請団体の事業遂行能力及び経費の妥当性	①団体の実績 事業を遂行するための十分な組織体制や活動実績があるか ②事業の独自性 行政にない発想やノウハウを活用しているか ③経費の妥当性 所要経費の積算が内容に対して妥当であるか
3	期待できる効果今後の事業展開	①地域活性化への寄与 （広域交流事業、県民協働活躍事業） ・広域的な地域活性化に寄与することが期待できるか （ワカモノ活動促進事業） ・地域活性化に寄与することが期待できるか ②事業の継続性 （広域交流事業） ・事業終了後に、当該県外団体等と関わるための基盤形成が期待できるか （ワカモノ活動促進事業） ・事業終了後も、当該若者ボランティア団体等とボランティア団体等との間に、関わりの継続が見込めるか （県民協働活躍事業） ・事業終了後も、何らかの継続が見込めるか ③活動の広がり 事業終了後の活動の広がりや他団体への影響が期待できるか